

令和7年度（2025年度）

ニセコ町長予算編成方針

ニセコ町の認証

環境モデル都市

SDGs 未来都市

プラチナシティ

ベストツーリズムビレッジ

（国連世界観光機関：UNWTO）

グリーンDESTIネーション Top100

シルバー アワード 2023

（世界持続可能観光協議会：GSTC）

令和6年（2024年）11月1日10時
予算方針説明会（ニセコ町民センター）

【ニセコ町長 2025 年町政執行方針 資料 2024.11】

☞ 私たちの社会を取り巻く課題

- 1、 所得が伸びず、物価が上がるなど、格差の拡大による生活苦
→ 経済合理性優先社会から人の尊厳を大切にする「共感資本社会※」への転換
- 2、 子育て環境の整備と子どもへの投資は緊急課題
- 3、 地球環境負荷の低減と気候変動対策
※共感資本社会とは、相互扶助（お互いを尊重し、助け合うこと）を基本とし、人々の暮らしを大切にし、共感の連鎖による「人と自然」に優しい社会をいう。

☞ ニセコをつくる、3つの将来像と10の目標

1、資源と経済が循環する SDG s 未来都市ニセコ

1) 信頼される農業のまち

国営緊急農地再編整備事業により、生産性向上を図り、後継者を育成し、スマート農業を推進、安全安心な『クリーン農業』のニセコをつくる。

2) 活力ある経済システムのまち

観光リゾートと農業や商業が連携し、地域経済が循環・自律する、住む人と暮らしに優しい『共感資本社会』のニセコをつくる。

3) 雇用の場を増やし、暮らしを守るまち

ものづくりや内発的な産業を育てるとともに、ニセコのまちづくりに共感する企業の誘致に努め、雇用と暮らしを守るニセコをつくる。

4) 水環境を保全するまち

森林を育て活かし、水道水源や地下水を保全、地球環境負荷を低減する『環境モデル都市・カーボンフリー都市』ニセコをつくる。

2、人の力が発揮され笑顔が広がる 心温かなニセコ

5) 子どもの人権が大切にされ、安心して子育てができるまち

子どもの教育環境の更なる充実と、遊び場や居場所を拡充し、子育てしやすいニセコをつくる。

6) 高齢者を大切にするまち

高齢のみなさんを敬い、孤立しないよう支え合う、心温かなニセコをつくる。

7) 地域の医療を守るまち

健康を保ち、安心して住み続けられる医療・福祉が充実したニセコをつくる。

8) 災害への備えを怠らないまち

消防・救急・災害への対策を整え、いのちと暮らしを守るニセコをつくる。

3、町民のみなさんが自ら考え行動する元気なニセコ

- 9) お互いを尊重し相互扶助の輪が広がるまち
頑張る人を応援しまちを盛り上げる、多様性に富んだ楽しいニセコをつくる。
- 10) 公正で効率的な自治体経営を実践するまち
情報の共有化を進め、自由闊達にチャレンジする人や組織を応援する、「未来に持続するニセコ」をつくる。

4、町政執行方針におけるまちづくりの推進項目

- 1) 水道水源の確保・増強と水道管路の耐震改修の促進（上下水道課）
- 2) 地球温暖化防止対策（ゼロカーボン）の促進（企画環境課・全課）
- 3) 環境モデル都市アクションプランの推進（企画環境課・全課）
- 4) SDGS 未来都市計画の推進とニセコミライ街区の整備支援（企画環境・都市建設・上下水道課）
- 5) 国営緊急農地再編整備事業の促進（国営農地再編推進室）
- 6) スマート農業・クリーン農業の推進（農政課）
- 7) こどもに優しいまちづくりの推進、子育て環境の拡充（教育委員会・全課）
- 8) 子ども医療費無料化の継続（保健福祉課）
- 9) 義務教育における給食費の完全無償化の検討（教育委員会）
- 10) 義務教育における副教材等の無償化の推進（教育委員会）
- 11) ニセコ高校寮の整備促進とニセコ高校の学科転換・魅力化の推進（教育委員会）
- 12) 重点道の駅・防災道の駅「ニセコビュープラザ」をハイウェイオアシスに（商工観光課）
⇒ 高速道路計画（蘭越・倶知安間）とインターチェンジの位置確認と土地の確保
- 13) 町民プールの整備検討、位置及び複合施設の検討、熱源調査（町民学習課）
- 14) 森を育み木材の域内循環を図る（株）ニセコ雪森考舎への支援（農政課）
- 15) 町民や来訪者参加型の森づくりの推進（農政課）
- 16) 慢性的住宅不足解消のための住宅政策の強化
（都市建設課・上下水道課・企画環境課・教育委員会）
- 17) 「ニセコミライ地区/（株）ニセコまち」との連携強化、
教職員住宅計画等との連携強化（都市建設課・上下水道課・企画環境課・教育委員会）
- 18) 公園管理の強化、農村公園の整備、ニセコアンヌプリ森林公園の利活用促進
（都市建設課、商工観光課、教育委員会）
- 19) 宿泊税の円滑な事務処理と適正な事業実施（商工観光課・税務課・企画環境課）
- 20) 新地域通貨（共感ポイント）の導入（企画環境課・商工観光課）
- 21) 持続する財政基盤の確立と自律した地域循環共生型社会（資源・エネルギー・経済）の
「共感資本社会」への取組み強化（全課）
- 22) 「ニセコ町観光ビジョン」・「ベストツーリズムビレッジ（国連世界観光機構/UNWTO）」・
「Green Destinations『Top100 及び Award SILVER』（世界持続観光協会/GSTC） / 「グラスゴー宣言」に基づく持続可能な観光地づくりを推進（商工観光課）

- 23) 一般廃棄物最終処分場の早期閉鎖と施設の有効活用
(町民生活課、企画環境課、商工観光課)
- 24) ごみ処理料金の改定、事業系ごみ処理料金の見直し (町民生活課)
- 25) 各種の使用料、手数料の改定の有無を検討し、予算への反映調整 (全課)
- 26) 地域における人材不足対策への取り組みの実施 (商工観光課、企画環境課、総務課)
- 27) 自転車活用に関する条例の具体的推進、脱炭素の推進 (全課)
- 28) 税込及び補助交付金・有利な起債の確保、**過疎債活用の拡充** (全課)
- 29) 「日本国憲法」と「ニセコ町まちづくり基本条例」を暮らしに活かす視点 (全課)

令和7年度予算の編成にあたってのニセコ町長の方針

☞ 令和7年度は、過疎地域からの卒業を見据えつつ、将来に向けて持続する社会づくりの基盤整備を集中して強化をする。

- 1、「環境モデル都市」「SDGs 未来都市」「共感資本社会」の推進
- 2、「子育て支援の強化・拡充」
- 3、「住宅不足緩和」への対策強化 →(株)ニセコまちへの支援強化
- 4、「持続する社会」形成のための基盤の整備 →(株)ニセコ雪森考舎への支援
- 5、「水資源保全、環境緑地、堆雪等まちづくり」のための用地の確保

1、『こども未来共創都市ニセコ』の実現に向けて

- 1) 資源と経済が循環するニセコ
- 2) 人の力が発揮され笑顔が広がる「心温かなニセコ」
- 3) 町民のみなさまとともに、みんなで築く「元気なニセコ」

2、まちづくりのための10の目標

- 1) 農業所得向上対策の実践による**夢のある農業**
- 2) 農業と商工観光が連携し、自律した**循環型経済**の地域
- 3) 水環境を守り、地球環境負荷を低減させる「**環境モデル都市**」
- 4) 教育環境を整備・拡充し、**安心して子育てができる教育のまち**
- 5) これまでの社会を創ってこられた高齢者を大切に**する温かなまち**
- 6) 医療と福祉の拡充による**安心のまち**
- 7) 消防・救急体制整備による**災害に強いまち**
- 8) お互いを尊重し、**頑張る人を応援する人の輪**が広がるまち
- 9) 地域の産業を育て、雇用と暮らしを守る**内発的産業育成のまち**
- 10) 公正で効率的な自治体運営を実践する**地方政府の確立**

3、令和7年度の予算規模の大きな事業及び特記事業（再掲）

- 1) 「SDGs 未来都市」「環境基本計画＋環境モデル都市アクションプラン」の推進
- 2) 「自治創生」「国土強靱化計画」「事業継続（BCP）計画」事業の推進
- 3) 農業基盤の整備他農業の振興
 - ①国営緊急農地再編整備事業の推進（R9年完成に向けて）、
 - ②みどりの食料システム戦略の推進、③農山漁村振興交付金の活用
- 4) 消防庁舎・防災広場（消防庁舎付帯）の整備の推進
- 5) ローカルスマート交通対策(域内交通・広域交通・デマンドバス)の拡充
- 6) 省エネ、再生可能エネルギーの導入促進（町内の全てにおいての視点）
- 7) 道の駅ニセコビュープラザは、高規格道と連動、「ハイウェイオアシス」の検討
- 8) 町民プールの整備計画の検討（構想熟度を深化、熱源の調査開始）
- 9) ちびっこ広場の整備、遊具は増設（子供にとって遊ぶことは生きること）
- 10) 子育て支援策の拡充（義務教育給食費の無償化、幼児センターの給食支援検討）
⇒ 家庭での育児支援の必要性の有無の検討
- 11) 有島記念公園牧場跡地及び羊舎の活用
- 12) 道路・橋梁・公営住宅の長寿命化の更新及び実施
- 13) 無電中化の推進（ニセコミライ地区優先実施）
- 14) 水道施設（水道水源施設強化、耐震管の整備等）の整備促進
- 15) 宿泊税（観光環境目的税）の実施と「持続可能な観光」への使途
- 16) 気候変動適応対策（学校・避難所等公共施設への熱中症予防設備の整備）
- 17) 自主防災組織の設立強化、停電対応電源等の整備
- 18) 行政改革不断の推進、AIの導入及び調査実施
- 19) 文化、芸術、コミュニティ、防災、健康づくり等、町民研修機会の拡充
- 20) 教育環境の拡充の推進
 - 公営塾の拡充、放課後こども教室の充実（学校施設の有効利用検討）
 - 中学部活動の地域移行、スポーツ振興（文科省の補助、道庁の補助金活用）
 - 人材バンクの登録と地域人材の参加の仕組みを確立
- 21) 国際交流員、地域おこし協力隊、集落支援員の拡充
- 22) 自治会・町内会未設置個所の解消及び自治会加入率の向上
- 23) ごみ減量化の推進、リサイクルへの周知活動の強化（事業者系の取り扱い検討）
- 24) 防災ラジオの配布率の向上とラジオニセコへの支援
- 25) 職員の福利厚生充実及び職員研修の強化
- 26) 自治体DXの推進
- 27) 公共料金等のキャッシュレス化の促進
- 28) 優良企業の発掘と連携の強化
- 29) 各種の補助・交付金の積極活用

4 基本的な事項

- 1) 「最小の経費で最大の効果を」との「旧来型発想から脱皮」し、住民の福祉向上とニセコ町の活性化のため「最大の効果を最小の経費」で実施するよう**発想の転換**を。
- 2) 時代遅れの「当初予算主義から脱皮」し、必要なことは直ちに予算化着手し、スピード感を持って「まちづくり」や「組織改革」に挑戦を。**課題を先送りしないこと**。
- 3) 「縦割り意識を排除」し、関係課・係との情報共有・連携に勤めること。「たぶん、〇〇のはず、〇〇だと思う」など**推測による議論や結論は最悪**。「必ず事実の確認」を行うこと。
- 4) 町の施設整備や備品見積もり等は、自宅（自分のお金）で購入すると同様の視点で、多様な検討を加え、**利用者の利便と維持経費等総合的な検討**を。
初期投資を安価にすることに拘泥することなく、**ライフサイクルコスト・将来の価値**を考えること。（安ければ良い、入札が良いとの旧来型志向からの脱皮を）
- 5) 良い仕事をするうえで、**情報の収集と研修・自己研鑽**は、極めて重要である。各課において、職員の資質向上や町のためになす活動については、**創意と工夫をしつつ積極的な予算づくりに努力願いたい**。地域に飛び出す職員を応援する。
「前例主義での予算づくりから脱皮」を。
- 6) 『環境モデル都市』『SDGs 未来都市』として、地球環境負荷の低減、持続する循環社会、そして、「人間の尊厳を大切にすること」を基本として**予算づくりにあたること**。
①物質・資源の循環、②エネルギーの循環、③経済の循環を基本とする。
- 7) 「日本国憲法」「ニセコ町まちづくり基本条例」、「ニセコ町総合計画」、「ニセコ町自治創生総合戦略」をはじめとする各種計画を念頭に**予算編成を行うこと**。
- 8) 前年要求予算が付かなかったことをもって、**予算要求をしないことがないこと**。
⇒ 真の必要性を検討し、R7年度予算で計上する理由を確認すること。
- 9) 地域にある資源を有効に活用する、地域にある産業、事業所、農業等の**内発的産業の支援**。また、**地域で頑張っている人を応援すること**に最大限の努力を。
- 10) **管理職のリーダーシップ**のもと、他課との連携を率先して行い、自ら考え行動する模範となること。また、課内の仕事をシェアするなど助け合い、課内の仕事のマネジメントをしっかりと行うこと。加えて、職員の健康・福利厚生・休暇の取得等に十分配慮し、**元気で明るい職場づくりに努めること**。
→ 相互に助け合い、休暇の取りやすい職場を目指すこと。
- 11) **前例主義から脱皮**し、先進性を持って新たな視点で仕事を整理すること。
①「自ら考え行動する」「当事者意識を持ち、他者の責任に転嫁しない。」
②「自治体との比較」⇒ 遅れた自治体とニセコ町を比較する意味はない。
③「前年度との比較」⇒ 長期的視点の欠落を招くので、過度に重要視しない。
- 12) 環境美化に努め、公共トイレは再度確認を。利用者にとってトイレは、使いやすく快適か。子ども、乳幼児、子育てへの配慮はあるか。
- 13) 仕事における全ての発想の原点は、**主権者である町民の視点と暮らし**。
⇒ 公共の3原則＝公益・公正・公開

14)国や北海道とは、対等・協力の関係にあることを自覚し、自らの仕事に誇りを持って職務に邁進願いたい。

5、予算編成にあたっての配意

- 1)ニセコ町の将来を俯瞰し、事務事業の改革、必要な「行政コスト」と無駄な「行政ロス」を見極めて予算編成をお願いします。
- 2)環境基本計画、SDG s 未来都市、環境モデル都市、地域循環（資源・エネルギー・経済）づくり、グリーン購入、フェアトレードに十分配意願います。
- 3)関係機関・関係者との協議を行い、予算提案熟度を高めるよう配意願います。
- 4)縦割り主義、前例主義を排除し、「情報共有」を基本に関係部署連携して予算編成を進めてください。
- 5)事務事業費の多額なものや重要な予算、スクラップする事務事業については、事前（予算ヒアリングの前）に副町長、教育長との協議を終えてください。

(2024.11.01 Katayama Kenya)